

## あいさつ

青木村

おはようございます。

本日、令和5年第3回青木村議会9月定例会を招集いたしましたところ、全議員の皆さまにご出席をいただき、誠にありがとうございます。

今年も非常に暑い夏でした。

気象庁が発表した長期予報によりますと、9月から11月にかけての3か月間も、地球温暖化やエルニーニョ現象などの影響で、広い範囲で気温が平年より高い傾向が予想されています。特に9月は、東日本や西日本を中心に残暑が長引く見通しです。

また、記録的な猛暑に加えて、雨が少ない状況が続いており、農作物への影響が大変心配な状況です。今週は雨の降りやすい日が多いようですので、少し期待したいと思います。

78回目の終戦記念日を迎えた8月15日、「全国戦没者追悼式」が日本武道館で開かれ、天皇、皇后両陛下や岸田文雄首相、戦没者遺族らが参列し、戦争で犠牲になった約310万人を追悼しました。

天皇陛下は「過去を顧み、深い反省の上に立って、再び戦争の惨禍が繰り返されぬことを切に願い、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に対し、全国民と共に、心から追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります」とおことばを述べられました。

岸田首相は、ロシアによるウクライナ侵攻が1年半にわたるなど緊迫する国際情勢を巡って「戦争の惨禍を二度と繰り返さない。この決然たる誓いを今後も貫いていく」とし、国際社会と協力していく姿勢を示しました。

私は、戦前に生まれ戦争の悲惨さを少しでも知っている者として、若い人たちにそれを伝えていく責務があると思っています。

少子化問題について国では「静かなる有事」と捉え、ようやく「異次元の対策」を開始しました。具体的には、児童手当のアップや出産費用の支援などでありませ

す。現在、20歳から40歳の女性層は1,297万人いますが、20年後は1,007万人と290万人減少することになります。また、男性の職の不安定化と貧困化が主な原因で、50歳時点での未婚率は30%近くに達し、経済的な理由で結婚に踏み切れ

ないのではと思われま

す。女性人口や婚姻率の低下は、当然のことながら少子化に大きな影響を及ぼします。国は少子化の本質を見極めるべきではないでしょうか。

村内の歯科医療と口腔衛生の向上に、大変大きな業績を残された宮原信之先生が、8月23日にご逝去されました。穏やかで優しく、皆に慕われる方でした。

先生は、昭和43年から55年の長きにわたり、村唯一の歯科医として、小学校や中学校の校医をはじめ地域の歯科医療にご尽力いただきました。上田小県歯科医師会では要職を務められ、指導的な役割を果たしてこられました。また、村の長期振興計画や、福祉・介護・健康などに関する諸計画の策定に委員としてご参画いただき、適切にご指導をいただきました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

今年、大正12年(1923年)、南関東を中心に発生した関東大震災から100年目を迎えます。

この震災は首都圏や周辺地域に甚大な被害を引き起こし、当時及びその後の社会へも非常に大きな影響を与えました。この震災を教訓として、災害を防ぐための知識や心構えを広く国民に理解してもらうことを目的に、発生日の9月1日が「防災の日」に制定されました。

牛伏寺断層は松本市と塩尻市を通る活断層で、将来活動確率(今後30年以内)は約25%と、国内の内陸部では最も高く予測されています。隣接する青木村でも、台風などと違い予測できない地震等にもしっかりと、最悪の事態も想定しその対策や対応に備えていかなければならないと考えております。

5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、2類から季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げられてから4か月余りが経過いたしました。

上田圏域の感染状況は5類に変更以降、しばらく急激な感染拡大傾向は見られず、比較的安定した状況が続いておりましたが、7月以降、徐々に感染者数が増加し、8月21日～27日の1週間の感染者数は、前週の約1.2倍、1か月前の約1.8倍にもなり、県は8月29日、全県に「医療警報」を発出しました。

これは、5類移行後初めての夏を迎え、花火大会や夏まつり等のイベントが再開するなど、人と人とが接触する機会が増加したことが原因であると思われま

す。村では、5月以降実施してきました65歳以上の高齢者の方等を対象としたワクチンの春・夏接種に引き続き、9月下旬からは、初回接種を終了した方を対象

に、現在流行の主流となっているオミクロン株の「XBB」対応ワクチンを使用して秋・冬接種を開始し、体育館での集団接種を予定しております。

村民の皆さまには、引き続き自らの判断による自主的な感染予防への対応にご配慮いただくとともに、村としましては、今後も、コロナへの感染に心配のある方が安心して日常生活を送ることができるように、必要な感染対策等に取り組んでまいります。

9月1日、株式会社竹内製作所青木工場が操業開始いたしました。

待ちに待ったこの日でした。村にとってこの工場は、産業拡大、地域経済の底上げ、雇用や税収の増につながり、ひいては移住・関係・交流人口の増による村の活性化を実現させる世紀のプロジェクトです。

村民や村議会の皆さんからの要望は、その多くが財源を伴います。財政力指数0.22と県内市町村の中でも下位の青木村にとって、財源の確保は喫緊の課題であり、そのため企業誘致に積極的に努めてまいりました。

企業誘致を実現するための大きな課題は、

1. 企業の進出があるか
2. 用地の確保ができるか
3. 農業の規制解除ができるか

の3つであります。

今回、それぞれの課題解決に向け、関係する皆さんの協力が得られたことから、面積、操業開始時期など、緒元が竹内製作所の希望に沿う形で進められてきました。竹内製作所は県下でもトップクラスの小型建設機械(完成型)メーカーです。その製品のほとんどが輸出されているアメリカやヨーロッパで、メイドイン青木の製品が活躍することになります。

村議会ははじめ多くの関係者の皆様のご協力に心から感謝を申し上げます。

操業開始にあたり竹内製作所さんから、村が行った工場敷地造成や周辺道路整備等の協力、そして予定通りの期日に操業開始できたことに対するお礼として、2億円の寄附のお申し出をいただきました。大変ありがたいことであります。

今議会の補正予算に計上させていただきました。

東急グループが殿戸の五島慶太翁生家跡地に、焼け残った古材を活かし生家そのままの姿で復元した建物「東急グループ慶太塾」の竣工式が、8月2日に行われました。

この塾の意図するところは、『東急グループ各企業の役職員が当塾に集い、時代をこえて若かりし慶太と同じ空気を吸い同じ景色を見ながら語り合い、その創業者精神を自らの心に宿す、まさに東急グループの拠り所そのものである。』と

設立趣意書に謳われています。

竣工式には、現場で建築工事に携わった村内の工事関係の皆さんも、たくさんお招きいただきました。

道の駅あおきのお盆期間中（8月11日～16日）の状況についてですが、来客数7,750人、売上946万円余で、農産物直売所、味処こまゆみ、恋渡屋ともにこの時期過去最高の活況でした。それぞれの特性を持った三施設の相乗効果により、多様なニーズに応えることができているのではと思います。

今年の夏もたくさんの観光客の方に青木村へお越しいただきました。その中の村とご縁がある埼玉の企業が企画した「長野県青木村一泊体験バスツアー」では、10組20名の親子の方に、村内で様々な体験をしていただきました。

参加された皆さんのアンケートには『義民太鼓や昆虫資料館、座禅体験、温泉の素晴らしさに加え、村の人たちの温かさに感動した旅でした』など、たくさんの嬉しい感想が書かれており、改めて村を誇りに思いました。

9月の第3月曜日は、多年にわたり社会に尽くしてきたご高齢者を敬愛し、長寿を祝う敬老の日です。

村では今年も敬老祝賀事業として、9月13日(水)に対象の高齢者の方30名(110歳：1名、103歳：1名、100歳：1名、99歳：3名、88歳：24名)のお宅を表敬訪問し、お祝いさせていただきます。

先の6月定例会閉会后本日までの主な行事の報告をいたします。

コロナ禍が落ち着き、多くの会議や行事の開催が4年ぶりに復活するなど、村に賑やかさが戻りつつあります。

6月16日(金)、青木小学校の「150周年記念音楽会」が開催されました。

明治6年に村内に学校ができてから、今年で150周年となりました。戦後の新しい青木小学校となってからは、6,042人の卒業生を送り出してきました。美しい合唱や演奏を聴きながら、誇りある青木小学校の伝統を守り、50年後の後輩達に確かな青木村をバトンタッチしていかなければならないと思いました。

6月17日(土)、4年ぶりの「東京青木会総会・集う会」が東京上野で開催され、金井とも子前議長と参加してまいりました。

久しぶりの会合で大いに盛り上がり、メンバーの皆さんからは故郷を思う熱いメッセージをたくさんいただいてまいりました。

6月18日(日)、「青木村消防ポンプ操法大会並びに青木村消防ラッパ吹奏大会」が青木村運動公園総合グラウンドで開催されました。村の団員の皆さんは少ない人数の中で各競技に全力で取り組み、日頃の訓練成果が発揮された大会となりました。

7月2日(日)には、「消防ポンプ操法上小大会及び上小ラッパ吹奏大会」が青木村運動公園総合グラウンドを会場に開催されました。ラッパ団体の部では38年振りの優勝という快挙を成し遂げ、審査講評の中で、「芸術の世界」と、音楽性を高く評価していただきました。

さらに、7月23日(日)に長野県消防学校で行われた「長野県消防ポンプ操法大会・長野県消防ラッパ吹奏大会」に上小地区代表として出場し、健闘いたしました。

また、村の夏まつりには、雨の中にもかかわらず見事な演奏を披露していただき、その心意気に感激いたしました。

6月22日(木)、「青木村総合教育会議」を行いました。この日は、教育委員さんたちと一緒に、青木保育園、青木小学校、青木中学校のすべての学級を訪問し、授業を参観しました。

0歳から15歳までの子どもたちの成長の様子と、それぞれの先生方が様々に工夫して、授業や活動を盛り上げようとしている様子を感じ取ることができ、コロナ禍も落ち着いた中、日頃の先生方の熱意と努力がよく分かりました。

7月8日(土)、青木小学校の自転車クラブが、長野運動公園総合体育館で行われた「交通安全子供自転車長野県大会」に出場しました。

日頃の練習の成果を充分発揮し、団体で準優勝、個人では1位という素晴らしい成績を収め、私たちも元気をもらいました。

7月12日(水)～13日(木)、「国民保養温泉地協議会総会」が青木村で開催され、記念講演や村の取り組み事例発表、意見交換などが行われました。

全国の有名温泉地の皆さんに、田沢温泉、沓掛温泉の泉質の良さを知っていただくこともでき、有意義な会合となりました。

7月14日(金)、千曲バス社長との懇談を行いました。

運送業の働き方改革の中で、バスの運転手さんの労働環境の厳しさと、定時性を持った運行の大変さを伺いました。

7月20日(木)から21日(金)にかけて、「上田地域広域連合正副連合長行政視察」で静岡県浜松市を訪問し、消防など公共施設を視察してまいりました。

人口に対する消防団員の割合は、浜松市が0.28%、上田市が1.08%、それに対し青木村は5.85%という高さです(令和4年4月1日現在)。

消防団員が減少する中、入団していただいている青木村消防団員の皆さんに、改めて感謝の念が湧いてきました。

8月5日(土)、4年ぶりの夏まつりを開催しました。

今年は、交通安全や猛暑の影響を考慮して内容を一部変更し、総合グラウンドのみを会場として実施しました。各地区の神輿や踊り連の皆さんが元気良くグラウンドを周回し、子ども達の夏の思い出の1ページになったのではないかと思います。

また、悪疫退散と祖先への鎮魂を祈願して打ち上げた花火大会では、夜空を彩る美しい光と音のショーを楽しみながら、家族や友人の皆さんと感動を共有していただけたのではないのでしょうか。来年は、世の中が平和で、経済情勢が回復する中での開催を期待したいと思います。

8月8日(火)に県議会農政林務委員会への陳情がありました。

青木村からは、①(5年水張りルール問題に起因する)「水田活用の直接支払交付金の交付対象要件の見直しについて」と②「生産資材等価格高騰対策に関する支援について」の2点を要望しました。

さて、本9月議会は決算議会でありますので、まず、令和4年度の青木村決算状況について申し上げます。

#### 一般会計について

歳入総額	32億8,852万8,880円	
歳出総額	29億5,719万2,810円	
歳入歳出差引額	3億3,133万6,070円	
繰越明許費繰越額	1億4,612万4,000円	
実質収支	1億8,521万2,070円	の黒字となりました。

#### 特別会計について

国民健康保険、別荘事業、介護保険、後期高齢者医療特別会計について、いずれも黒字決算となり健全な財政運営が行えました。

## 公営企業会計について

簡易水道事業、特定環境保全公共下水道事業会計について、昨年度に引き続き、経常利益を計上することができました。

### 一般会計

#### 主な歳入について

- 1 村税は、前年度より2,093万8千円増の4億2,295万9千円。
- 2 地方交付税は、前年度より2,628万8千円減の17億3,715万6千円。歳入合計の構成比が52.8%となっており依存財源として高い状況にあります。
- 3 国庫支出金は、地方創生臨時交付金は6,007万2千円の増でしたが、子育て世帯臨時特別給付金が6,378万9千円減、新型コロナワクチン接種体制確保事業費国庫負担・補助金が2,596万7千円減、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付事業費補助金が2,688万2千円減等により、前年度より6,746万7千円減の3億6,629万3千円でした。
- 4 寄付金は、遺贈いただいた寄付金641万8千円を含め、前年度より959万3千円増の2,067万3千円でした。
- 5 村債は前年度より7,530万円減の6,630万円でした。

#### 主な歳出について

- 1 総務費は、財政調整基金積立金や公共施設整備基金積立金の皆減等で前年度より2億2,186万4千円の減。
- 2 民生費は、子育て世帯への臨時特別給付金事業の皆減等により前年度より4,949万5千円の減。
- 3 土木費は、橋梁点検・長寿命化修繕計画策定業務の減等により前年度より8,294万2千円の減。

その他、主な事業内容については、決算附属資料をご覧ください。

#### 積立金

遺贈いただいた寄付金641万8千円を福祉事業基金へ、その他、情報通信関連事業基金等今後の事業計画からそれぞれ積立てを行い、基金現在高は総額22億6,461万6千円となり、前年比1,645万5千円の増となりました。

#### 健全化判断比率および資金不足比率について

健全化判断比率並びに公営企業の経営状況を判断する資金不足比率について、法律に基づき算定した結果、算定はありませんでした。実質公債費比率は7.5%、

昨年度比0.4%増となりました。

今後も、緊急防災・減災事業債や防災対策事業債、上水道企業債の償還が始まること、また、借入も予定していることから、ここ数年は比率が上昇することが予想されます。

#### 経常収支比率について

経常収支比率とは、使途を制限されない経常的な収入の割合であり、この比率が低いほど自由に使える財源があり、財政にゆとりがあることを示す指標です。

令和4年度の経常収支比率は78.7%となり、前年比2.7%の増となりました。

#### 財政力指数について

財政力指数については、3ヵ年平均で0.22、前年比△0.01の減となりました。

前年度の県内町村の財政力指数の平均は0.33であり、平均より0.11%低い現状です。

全体としては、公債費に関係する比率が若干伸びておりますが、すべて国の定めた制限基準を大幅に下回る比率であり、財政状況及び公営企業の経営状況ともに健全な財政運営がされており、令和4年度全体として健全財政と判断できる決算とすることができました。

これは、議員皆様のご支援ご協力によるものと厚く御礼申し上げます。

一般会計の主な決算状況について説明しましたが、特別会計、公営企業会計につきましては担当課長からご説明をさせていただきます。

去る9月1日に村監査委員の内藤賢二代表監査委員、宮下壽章監査委員から令和4年度青木村各会計歳入歳出決算について意見書を頂きました。(別添配布しております)

この審査にあたりまして、両監査委員には長い時間をかけ慎重な審査をいただいたとともに、適切なお意見をいただき誠にありがとうございました。

今後は、いただきましたご意見を職員共々真摯に受け止めさせていただき、村民サービスと住民福祉の向上につながる行財政運営に努めてまいります。

次に、令和5年度一般会計補正予算について、その概要を申し上げます。

一般会計第3号補正予算は、歳入歳出それぞれ3億1,922万6千円を追加し、総額を33億1,148万円とします。

令和5年度9月補正予算における一般会計の主な事業は次のとおりです。

## 歳入

番号	目	説明	計上額
①	災害復旧費国庫負担金	道路橋梁災害復旧費負担金 (村道青木の森1号線)	1,860万円増
②	民生費県補助金	価格高騰特別対策支援事業 県子育て世帯生活支援特別給付金	342万円増 164万9千円増
③	農林水産業費県補助金	松林健全化推進事業(伐倒駆除) 保全松林健全化整備事業補助金 森林づくり推進支援金事業補助金	287万円増 2,240万7千円増 199万円増
④	一般寄附金	(株)竹内製作所様より	2億円増
⑤	基金繰入金	森林環境譲与税基金	494万7千円増
⑥	繰越金	前年度繰越金	4,863万6千円増
⑦	村債	公共土木施設災害復旧事業債 (村道青木の森1号線)	930万円増

## 歳出

番号	目	節	説明	計上額
①	財産管理費	需用費	役場エントランスホール壁修繕工事	300万円増
		積立金	公共施設整備基金積立金 (株)竹内製作所様寄付金を充当)	2億円増
②	価格高騰特別対策支援事業補助金	負担金補助及び交付金	長野県価格高騰特別対策支援金 住民税所得割非課税世帯(非課税世帯除く)に対し1世帯2万円を支援	300万円増
③	長野県子育て世帯生活支援特別給付金	負担金補助及び交付金	長野県子育て世帯生活支援特別給付金 住民税所得割非課税世帯の児童1人に対し3万円を給付	120万円増
④	林業振興費	委託料	国補 保全松林健全化整備事業	3,201万円増
			県補 松林健全化推進事業(伐倒駆除)	574万円増
			森林づくり推進支援金事業	268万円増
			森林環境譲与税事業(松くい被害拡大)	494万7千円増

			防止事業)	
⑤	観光費	工事請負費	観光施設改修工事 (大法寺第2駐車場トイレ)	660万円増
⑥	道路維持費	工事請負費	当郷区岡石地区 交通安全対策工事	500万円増
⑦	道路新設改良費	委託料	当郷区岡石地区 測量、交通量調査	270万円増
⑧	図書館費	工事請負費	駐車場造成工事	260万円増
⑨	道路橋梁災害復	委託料	調査設計業務	757万5千円増
	旧費	工事請負費	災害復旧工事 (村道青木の森1号線)	3,500万円増

以上、補正予算の内容を説明させていただきました。

詳細につきましては、教育長並びに担当課長からご説明致しますので、ご審議の上ご議決いただきますようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。